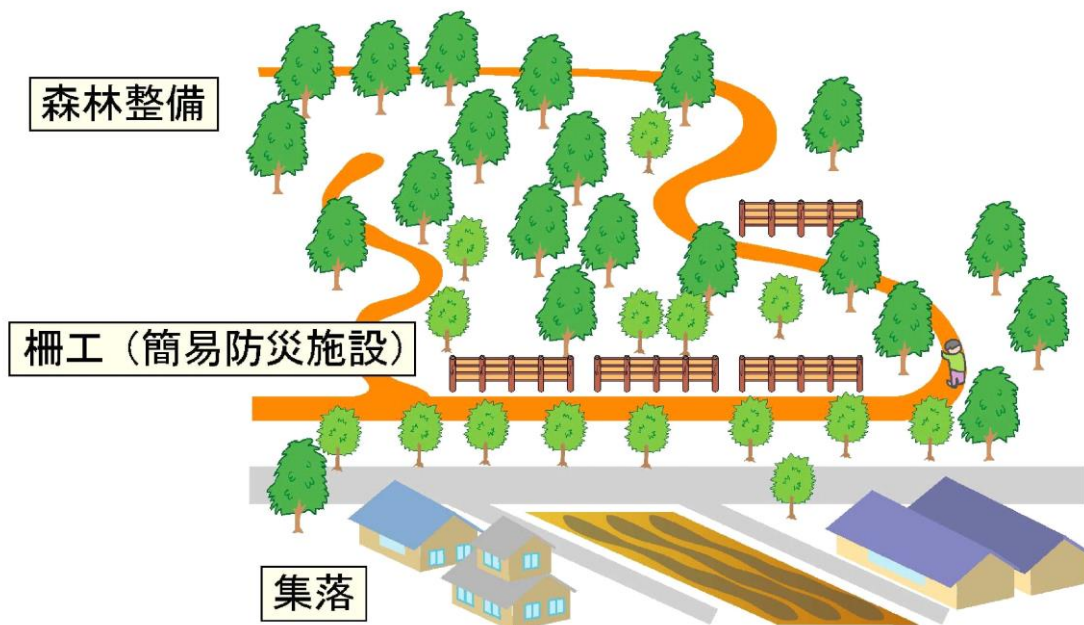


里山防災林整備

倒木や崩壊の危険性の高い集落裏山の里山林を対象に、山地災害防止機能等を高めるため、森林整備や簡易防災施設の設置等を実施しています。



第1期対策（平成18～22年度）で100か所2,217ha、第2期対策（平成23～28年度）で100か所1,837ha、第3期対策（平成28年度～令和4年度）で104か所1,487haにおいて、人家裏の危険木伐採や広葉樹林の整備、丸太柵工等の簡易防災施設等を設置しました。

第4期対策では、これまでの対策を引続き実施しています。



人家裏の里山林の整備状況《朝来市新井》

簡易防災施設の設置



危険木の伐採



丸太柵工の設置



崩壊箇所の土留工

整備事例

豊岡市竹野町林



全 景



溪流の安定を図るカゴ枠工と水路工

高砂市阿弥陀町



整備前



整備後

豊岡市但東町栗尾



整備後15年状況

豊岡市但東町平田



整備後10年状況